

2007年2月8日(木)

愛岐産業などA評価

県産経 センター 5社に「事業可能性」

県産業経済振興センターは七日、企業から募集した新製品開発などの新規事業について行う「事業可能性評価」の結果を発表した。愛岐産業(岐阜市東川手)の「ユニット・スロープシステムの開発」など応募のあった五社すべてが、事業実現の可能性が最も高

同評価制度は、中小企業の新事業進出支援を目的に、二〇〇二年から年に二回実施。高評価企業は、同センターのアドバイスが継続的に受けられるほか、金融機関による融資などにも有利となる。これまでに十二社がA評価を受けた。

文書による申請、同センターの現地調査を経て、二日に評価委員会を開催した。事業の先進性、独自性、発展性などを審査し、A、B、Cの三段

階で評価した。

そのほかのA評価企業は次の通り。

- ▽エス・ケイ・ワイ(可児市二野) 高精度・高耐久精密金型によるプラスチック二色成形品の製造▽コンテイク・アイ(岐阜市正木) 循環式浴槽用超音波殺菌装置の開発▽鈴木工業(養老郡養老町下笠東江下) 心肺蘇生法教育人体モデルの開発▽麵の清水屋(飛騨市神岡町殿)「飛騨高山らーめん鬼ごっこ」の開発